

ダルク(DARC)とは

ダルクとは、麻薬・向精神薬・睡眠薬・覚せい剤・シンナー・市販薬・アルコールなどの薬物に依存している人たちが、毎日行われる『グループ・セラピー』を通し、薬物依存から回復し、社会的にも回復したいという人たちの助けをする“リハビリ施設”です。

薬物依存とは、世界保健機構（WHO）が、定義している精神的・肉体的・社会的な“病気”です。

ダルクプログラムは、世界で依存者の自助グループや施設等で広く採用されている“回復”と“成長”のプログラムを取り入れています。薬物依存からの回復には、薬物依存者本人からの正直な体験を聞くことや、自分も心を開き正直な話をつづけること、仲間と一緒に薬物なしの新しい生活を始めてみる必要があります。

私たちのこれまでの経験から、薬物に依存しない新しい生活に慣れるまでに約1年かかることがわかってきました。回復には様々な障害が伴い、その状態を乗り越えて行くには薬物依存者同士が出会い、励まし、互いに癒す場が必要なのです。

ご相談に来所される場合は、あらかじめ電話でのご予約をお願いします。

また、電話でのご相談は、AM10:00～PM4:00までの間にお願いいたします。

費用やプログラム内容の詳細、その他ご不明の点は、スルガダルクへ直接お問い合わせください。

◎お車でお越しの方

東名高速静岡ICを右折、主要地方道中島・南安倍線インター通りをそのまま直進していただき、静岡大橋東の交差点を過ぎて、最初の歩道橋のもと右手の建物になります。コメダ珈琲の真正面です。インター出口より約1.2kmです。

※お近くまで、来られましたら、ご連絡ください。お迎えに参ります。

◎電車でお越しの方

JR静岡駅北口よりしずてつバス27番系統 徳州会病院行きに乗車して、『緑ヶ丘』で下車してください。

※下車されましたら、ご連絡ください。お迎えに参ります。

薬物依存からの回復のために

Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC



薬物依存リハビリ施設

スルガダルク

〒422-8058

静岡県静岡市駿河区中原931-1

TEL/FAX 054-283-1925

MAIL: 054suruga@darc-japan.com

ホームページ URL

<http://darc.floppy.jp/suruga>



スルガダルクの役割



ダルク・プログラム

ダルク・プログラムの基本は、ダルクで行われる“ミーティング”にあり、ここから自分が薬物に依存してしまう精神的背景を認識し、自ら解決するための手がかりを見つけます。他には、スポーツ等のレクリエーションや、薬物やアルコール依存者の自助グループで実践されている、これまでの生き方を改善するための『12ステップ』等を学習する教育的プログラム、薬物依存者の自助グループへの参加等です。

スルガダルクからの提言

スルガダルクでは、初めて来た人たち(ビギナー)はまずは3ヶ月間(1クール)ダルクにて、仲間と共に、生活習慣を取り戻すプログラムに参加することです。これらのプログラムを徹底的に実行することで薬物依存から回復できることを、これまで多くの仲間が証明しています。

ダルクに初めて来た人たち(ビギナー)は、ダルクの

スタッフの誰にでも、個人的問題や悩みについての相談を受けられます。彼らは、社会的回復をしてダルクから離れた後に訪れるであろう数々の悩みの相談にのり、アドバイスなどの精神的サポートをします。

入所期間

職員と面接の上で、宿泊施設への入寮か通所利用かの別と、入所日を決めます。プログラムは、原則として3ヶ月以上ですが、職員と利用者本人・家族などとの話し合いにより、社会生活が可能と判断された時に退所となります。

注意事項

施設内への薬物、アルコールの持ち込み及び使用、ギャンブル行為、あるいは、指示されたダルク・プログラムへの参加を拒否された場合、また他の利用者に著しい悪影響を与えたと判断された場合には、プログラムの途中であっても退寮もしくは通所を禁止させていただく場合があります。

プログラム

1日3回のプログラムに参加していただきます。
(平日はマリアの丘クリニックデイケア参加)

■午前のプログラム

午前10:30~12:00

- 主にスポーツ、ミーティング

■午後のプログラム

午後2:00~3:30

- ミーティング、認知行動療法、DVD鑑賞、スポーツ、作業、レクリエーション等

■夜のプログラム

午後7:00~8:30

- 自助グループ(NA・AA)に参加
- ダルク・ミーティング

■その他プログラム・ボランティア・食事会等

※その他、都合により、プログラムは変更になる場合があります。